

風の谷 びゅう VIEW

社会福祉法人 風の谷
 相模原市中央区田名7236-3
 発行責任者 政野 光廣
 042-760-1033
<http://www.kanagawa-id.org/yamabiko/>
 e-mail:ykoubou@pastel.ocn.ne.jp



【2019年 秋号】

- | | | | |
|--------------------|-------|----------------------|-----|
| ◇巻頭文 | P 2 | ◇「それぞれ」～自閉症支援センターより～ | P 3 |
| ◇特集 ～誰かと一緒に取り組む活動～ | P 4・5 | ◇決算報告 | P 6 |
| ◇GH便り | P 7 | ◇後援会のページ | P 8 |

就労について思うこと

評議員 柳場秀雄

昨年社会福祉法人「風の谷」が20周年を迎え、式典が行われてから、早いもので一年が過ぎました。私の息子はやまびこ工房が開所してすぐにお世話になりました。入所して5年目、どうなるか不安もありましたが、就労させて欲しいと相談しました。快く引き受けていただき、桜台の障害者研修センターで研修を受けました。幸い求人話があり、研修センターの職員・やまびこ工房職員の方々のサポートのお陰で就労することが出来ました。今年で16年、今も大きな声でコマーシャルの一部や、電車の名前など独り言を言っています。「小さな声」でと言っても何秒後にはもとの大きな声に戻ってしまいますので、就労先ではさぞ手が掛かるのではと案じています。通勤は電車を利用しています。電車が遅れても、電車が動かなくなっても、経験によるものなのか、うまく対処して出勤、帰宅しています。母親はその都度本人に、また必要なら会社へと連絡しています。長く就労出来ているのは、就労先の職員の方々がそれぞれの人達を理解し、その方たちにあわせた対応、そして余暇の提供など、職場の環境が息子にとって居心地の良い仕事場なのではと思っています。もちろん本人も我慢するところは我慢し、また要求を受け入れたりして彼なりに努力をしていることと思っています。

相模原市自閉症児・者親の会では、やまびこ工房職員、相模原市発達障害支援センター職員の方々にアドバイザーとして参加をいただき、発達障害者当事者の悩み、苦勞、本人はもとより親や家族はどう対処すれば効果的なのか、地域や社会に何を求めていったらよいのかを話し合う「おんぶ」（旧高機能懇談会）を開いています。その席で就労している当事者の話を聞きました。相手にどう伝えてよいのか分からずコミュニケーションがうまく取れない。要領が悪く臨機応変が出来ない。こだわりが強く他の人からこうした方がいいと言われると、うっとうしく感じてしまう。学生時代勉強に関しては、大きな問題はなかった。しかし自分の持っている特性のためから周りから浮いてしまい、からかわれたり、いじめにあった。大学では情報科学（コンピューター）を履修し、新卒で入社。精神的な病気で休職、退社。次に技術職として採用されたが再度精神的な病気で休職、退社。家族の助言で精神科受診。広汎性発達障害の診断を受け、精神障害者保健福祉手帳を取得。現在の会社は障害者雇用で入社。障害者に理解のある会社で、指導してくれる先輩は忙しくても仕事の内容を丁寧に説明し、又実際に見本を示してくれたので作業をしやすかったとのこと。今は無期限雇用の正社員になり、独力で何が必要か判断して業務を行い充実している様子です。「あのまま行っていたら引きこもりになっていたのでは」と言っていました。障害者雇用で入社して給料は一般の人より安いですが、「働けることが嬉しい」という言葉が印象的でした。自閉症とか発達障害という言葉を知っている人は多くいますが、自閉症の特徴がわかる人はとても少ないです。働く場に当事者と自閉症を理解している人が一緒に仕事をする事により、その方たちを中心にして自閉症理解の輪が徐々に広がって行くのではと考えています。

それぞれ

～相模原自閉症支援センターより～

清掃作業を終え、工房に戻るワゴン車の中には青年期の知的障害を伴う自閉症者3人が乗っている。

一番若いAさんは、Bさんの二の腕を撫でる

Bさんは、「やめろ」と言い、職員の促しもあって窓際に移動する

Aさんは、満面の笑みで、さらに手を伸ばして、Bさんの二の腕を撫でる

Cさんは、そのやり取りをみて「Aさん！Bさんは、嫌だって」と言う

Aさんは、ティッシュペーパーで鼻をかむ

Aさんは、ティッシュペーパーを捨てて欲しくて、「こっち」と言って、職員に手を伸ばす

職員は、運転中で対応できない

Aさんは、それでも「こっち」と手を伸ばす

BさんはAさんの「こっち」に応じて、ティッシュペーパーを受け取る

今回は、BさんにはAさんから離れるため助手席に乗ってもらう方がいいだろう。Aさんがティッシュペーパーを捨てられるようにレジ袋を用意しておくのがいい。Aさんは、車の中ですることが無く困っているので、ヘッドフォンで音楽を聴くのがいいだろう。長年、行動障害になってしまった方の支援をしているとそういう考えが先に出てきてしまう。それは、対人トラブルを避けるために培ってきた支援方法である。ただ、Aさんに注意するCさんの振る舞いは、そのような支援をしていると育たないように思うし、Aさんの振る舞いやBさんの振る舞いも無くすべきものではないだろう。

以前Bさんが不在だった時・・・

Aさんは、Cさんの肩付近をくすぐる

Cさんは、Aさんの肩付近を同じようにくすぐる

Aさんは、Cさんの肩付近を再びくすぐり、お互いに繰り返していた

どうしてCさんは、くすぐり返すことが出来たのだろうか。どうしていいかわからなかったのも同じことをしてみたのか、そのようにするとAさんは喜ぶだろうと思ってしたのか、くすぐられるのが嫌な気持ちをくすぐり返して表現しようとしたのか？

こういう経験をしているCさんが、Bさんが嫌がっていることを理解し、Aさんに注意する行為は、どのように獲得されたのだろうか？

一般的に知的障害を伴わない自閉症者でさえ、対人スキルを身につけるために支援を受けたり、独自に工夫を行うことがある。口頭言語を理解する力や文章を読む力もあるので、当事者の話や書籍からも身につける機会はある。では、知的障害を伴う自閉症者は、対人スキルをどのように身につけるべきなのだろうか？集団行動をすれば、身につけてくるものでもないはずだ。それならば、自閉症ではない。個々の対人スキルに応じた支援がやはり必要だが、今までそのようなことを重視して来なかった。

自閉症は視覚優位だと言われている。絵カードや写真、最近ではタブレットを使って、予定や手順を伝えたり、見てわかりやすいモノの配置にするように心掛け、確かにできることは増えてきた。できることは増えてきたけど、トラブルも増えてしまう場合もある。他者の意図や気持ちを理解し、適切に振舞えるような支援がなされてこなかった事が一因に思われるが、3人の振る舞いの中に支援方法を見出す鍵があるように思われた。今後の風の谷の支援課題としたい。(薬師丸)

一緒にやるってけっこう楽しい!!

～誰かと一緒に取り組む活動～

やまびこ工房は、昨年で創立20周年を迎えました。自閉症に特化した通所施設として、これまで「生活の自律」ということを大きな目標のひとつとし、日々支援に取り組んできました。スケジュールやジグを用いたり、活動の環境を整えたり、ひとりひとりの特性や個性にあったサポートを受けながら、みなさんのペースでできることを増やしてきました。

今年は、やまびこ工房がこれまで取り組んできた支援や強みを生かしながら、「誰かと一緒に活動する」ということにより積極的に取り組んでいます。他者を意識することが苦手とされている自閉症の方々ですが、実際に様々な活動に取り組んでみると、意外とそれが楽しみや意欲・安心感に繋がっているようです。また、職員が間に入ることによって、利用者同士のコミュニケーションも生まれています。

今回の特集ページでは、そんな活動の様子を紹介させていただきます。

清掃活動

Aさんは職員と一緒にやまびこ工房周辺地域のゴミ拾いを行っています。職員がビニール袋を持ち、Aさんはトングを使ってゴミを拾います。見つけにくい小さなゴミは、職員が声を掛けると拾うことが出来ています。Aさんのペースに合わせて時間や内容を設定することで、Aさんも負担なく活動できています。

活動中、近隣の方から声を掛けられ励ましの言葉を頂くこともありました。清掃は何気ない活動ではありますが、地域の方からもとても喜んで頂けているようです。

今後もAさんが充実感を持って取り組めるように、私たちもサポートしていきたいと思えます。





貨物船工作

Bさんは船が大好きで、「ガイヘルで漁船に乗りたい」という希望がありました。漁船に乗るのは難しいことを伝えた上でいろいろ話していくと、「お菓子の空き箱で貨物船を作りたい」と実現可能な希望になりました。次に出勤した時に一緒に作ることを約束すると、その日の買い物でいつもはジュースを選ぶBさんが、貨物船を作るための箱のお菓子（たけのこの里）を買っていました。

約束通り、次の出勤日に貨物船を完成させましたが、更に「貨物を（作って）載せたい」と嬉しそうに話していました。作った貨物船は、ご自身のスペースの壁に他の作品と共に飾っていただきました。

ケーキ作り

グループホーム「ナウシカ」での一コマです。

ある日の夕食後、みなさんでケーキ作りを行いました。写真は、手作りスポンジに生クリームを絞り、職員がそれをならしている場面です。その後、クリームが塗られた三段重ねのスポンジに、思い思いにイチゴをデコレーションして…完成です！

普段一緒に生活しているからこそそのチームワークで、それぞれの個性が光るステキなケーキになりました。全員で美味しく頂きました！



今回紹介した活動以外にも、誰かと一緒に取り組んでいる活動はたくさんあります。たとえば、トランプやすごろくゲームをしたり、苗から育てた野菜を収穫しおやつに食べたりしています。また、毎年夏にある納涼祭では、会場準備や片付けを一緒に行いました。その時のみなさんは、作業場面とはまた違ったいきいきとした表情をみせてくれます。また、誰かと一緒に活動をすることで自分以外の人にも意識を向けられるようになり、散歩の時、自分のペースで歩いていた方が、他の方のペースに合わせてくれるようになりました。これは、誰かと一緒に取り組むからこそ生まれた行動だと思います。

こういった活動は、みなさんにとって楽しみや安心感をもたらしているのみならず、生活する上での意欲やスキルの向上にも繋がっているようです。自閉症の方々が苦手とされている『他者意識』や『社会性』も、「一緒に活動する」ことを通して、楽しみながら育てていけたらと思います。今後も、みなさんがよりいきいきと安心して毎日を過ごせるようにサポートしてまいります。

社会福祉法人風の谷 2018年度決算状況報告

(単位：千円)

(1) 資金収支計算書 (2018年4月1日～2019年3月31日)

区分	収入額	支出額	資金収支差額
事業活動による収支	404,644	369,586	35,058
施設整備等による収支	6,885	29,150	-22,265
その他の活動による収支	384	2,160	-1,776
合計	411,913	400,896	11,017

※当期末支払資金残高 426,987

(2) 事業活動計算書 (2018年4月1日～2019年3月31日)

勘定科目	当年度決算
サービス活動増減差額	18,594
サービス活動外増減差額	3,225
経常増減差額	21,820
特別増減差額	4,872
前期繰越活動増減差額	618,877
当期末繰越活動増減差額	645,570
次期繰越活動増減差額	645,570

(3) 貸借対照表 (2019年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	489,531	流動負債	86,325
固定資産	955,654	固定負債	312,234
		純資産の部	
		基本金	55,912
		国庫補助金等特別積立金	288,644
		その他の積立金	56,500
		次期繰越活動増減差額	645,570
資産の部合計	1,445,185	負債及び純資産合計	1,445,185

(4) 財産目録 (2019年3月31日現在)

区分	金額
資産の部	1,445,185
負債の部	398,559
差引純資産合計	1,046,626



カラフル便り



最近ラジオ離れと言う話を聞きますが皆さんはラジオをお聴きになるのでしょうか？今回はラジオが大好きなSさんのお話をしたいと思います。

Sさんは普段なら予定時間の前には動き出されている方なのに、カラフルを出発する時間だけはなかなか部屋から出てきませんでした。準備は出来ているのに、声を掛けてもテレビとラジオを点けたままで横になっています。そんな日が続くなかSさんは必ず同じ時間に部屋から出てきていることに気がきました。どうやらラジオから流れてくるCMを聴いているようでした。そこでラジオを車で聴けるようにすると時間通りに出発することが出来るようになりました。今では誰よりも早く出発の支度をして迎えの車を待っています。今日も車の中ではラジオの声と共に楽しげなSさんの声が流れています。（田辺）



ナウシカ便り



前号の当記事では、月末に拘りが強くなる利用者さんの言動を見て「月末ですもんね」と自然に対応して下さる店員さんについて報告させていただきました。今回は、その後日談を報告したいと思います。素晴らしい対応に感動していましたが社会は常に動いており、その後、店長さん含めスタッフの入れ替えが行われました。現在、初対面の方ばかりの状況から再スタートとなっています。

同じ店で同じものを買うという、“いつも通り”に行動される皆さんですが、店員さんの反応は、警戒感のある対応をされる方、逆に何でも言うとおりに対応しなければ、と極端に合わせてくださろうとする方など、様々です。現在は、円滑に支払いができるように付き添いのスタッフがサポートをしながら、何を言いたかったか、なぜそれが必要なのかをお伝えして、まず、知ってもらうことに主眼を置いています。

特集ページで紹介されている通り、現在、風の谷では一緒に物事に取り組むということに力を入れています。一人で行うことに拘ると、こういった変化への対応は自閉症の方にとっては難しくなってしまうのですが、こういった状況だからこそ支援者をうまく使っていただいて、地域に味方をつくる方法へつなげていけたら良いのではないかと考えています。

店員さんによって理解のされ方も様々です。そこに柔軟に対応しながら、利用者さんとの橋渡し役として知恵を出していきたいと思っています。（野田）

第12回 相模原市自閉症児・者 作品展のお知らせ

<日時>

11月22日（金）13:00～19:00
23日（土）10:00～19:00
24日（日）10:00～15:00

<会場>

おださがプラザ
ラクアルオダサガ 4F
小田急相模原駅 北口下車1分



<問い合わせ>

相模原市やまびこ会 090-2468-1331 art@sagami-yamabiko.jp.org



後援会のページ



先の九州豪雨や台風15号の被害に遭われた方々に謹んでお見舞いを申し上げます。被災された方が一日でも早く普段の生活を取り戻していただけるようお祈り致しております。

自然災害の多い私達の列島は反面四季折々に変化する美しい自然があります。自然を守りながら災害を最大限防ぐ知恵が必要だとつくづく感じました。行政にはこれから単なる復旧では無く、強靱化に取り組んで貰いたいものだと思っています。例えば電線の地下埋設などです。

また忘れてならないのは被災された地域にも私達のやまびこ工房と同じような福祉施設やご老人のための施設などが数多くある事でしょう。そうした施設を利用する方達は環境の変化に順応することがとても苦手です。報道ではそうした人達の状況が全くと言っていいほど伝えられて居ませんが、自閉症者の中には電気が点かず暗い中で生活を送らなくてはならないだけでパニックを起こす人もいることでしょう。

私達が直接的に手を差し伸べて支援を行うことは大変難しいですが、そのような方々のご苦勞に心を寄せることや僅かでも募金に応じるなどのことを通して彼らを勇気付けられればと願っています。(堀田)

令和元年5月1日～令和元年8月31日現在（五十音順敬称略）

【新規個人】

(相模原市) 山田英恵

【更新個人】

(相模原市) 井上ふみ子 大久保敬二 小川幸枝 鏡京子 加藤秀典 川合義正 菊間政好 小林和子

小松英明 近藤幸子 佐藤清一 篠崎繁雄 清水徹 高田晋 竹内英次 永山智英子 縄島健一

原耕平 原徹 原友作 古橋須美 茂川京子 柳井晶子 吉澤孝雄(厚木市) 佐藤つかえ 藤野孝夫

(八王子市) 上城功 (川崎市) 上野悟 (横浜市) 安藤紀子 大久保秀俊 岡村香奈子 菊池孝子 作野雄一

(大和市) 村田嘉紀 (世田谷区) 下田武 (青森県引前市) 松岡美喜子 (所沢市) 下田浄 (仙台市) 辺見貴江子

(さいたま市) 江澤恵 (逗子市) 北村恵子 (盛岡市) 宮手敏雄 (北九州市小倉北区) 佐々木継生

【更新団体】

(有) 伸和トラスト

【ご寄付・ご協力】

井上ふみ子 加来俊恵 木下謙三 佐藤しづ子 清水恵美子 萩原春夫 宮田勇 新宿自治会

振興自治会 新宿小学校 ドゥ・シルフィード 田名地区社協ボランティアセンター

(有) 伸和トラスト ワーカーズキュービック相模原

その他たくさんの方にご協力いただきました。ありがとうございました。

風の谷後援会のご案内

風の谷後援会は、自閉症者の自立と社会参加を目指す『社会福祉法人 風の谷』を支援することを目的としております。主旨に御賛同頂き、皆様の温かい御支援を頂きますようお願い申し上げます。

一般会員 一口：3,000円/年間 団体会員 一口：10,000円

※一口以上、何口でも承ります。現金を添えてのお申し込みも承ります。

<お問い合わせ先>

『風の谷後援会』事務局

〒252-0244 相模原市中央区田名 7236-3 社会福祉法人「風の谷」内

TEL：042-760-1033 FAX：042-760-7115

郵便振込先 口座番号 00230-1-15345

他の金融機関からの振込先 ゆうちょ銀行 9900 店番 029 当座 0015345